

論 文 要 旨

2020 年 3 月 13 日

※報告番号	甲 第 264 号	氏 名	宍戸 賢一
主論文題名 廃棄物の処理・再利用における環境経済性評価に関する研究			
内容の要旨 廃棄物の最適処理・再利用の推進は、我が国のみならず世界的に必要且つ喫緊の課題である。本論文では廃棄物に起因する様々な現状ならびに問題点をピックアップし、廃棄物の処理・再利用におけるシナリオを構築することで環境経済性を評価している。建設汚泥の再利用における環境経済性の評価では、リサイクルに大きな影響を与える要因が採掘コスト、再資源化処理コストおよび重金属含有量であることを明らかにしている。津波堆積物の処理における環境経済性評価では、複数県で津波堆積物を請け負った場合、被災地の環境影響度が大きく減少することを明らかにしている。また、被災地における焼却炉建設用地の確保や処理が安定するまでは広域処理を推進し、災害廃棄物の処理を進めることも提案している。バンコク首都圏の廃棄物処理における環境経済性評価では、環境負荷ならびに環境コストの低減を図るため、提案した対策シナリオの導入が必要なことを提唱している。養豚業の廃棄物処理に関する環境経済性の評価では、糞尿の輸送方法および悪臭問題に着目することで、糞尿輸送における輸送機器である新装置を導入することが新装置導入前と比較すると直接コストのみならず臭気も低減することを明らかにしている。上記のとおり、本論文では廃棄物の処理・再利用における環境経済性の評価を行うことで最適な廃棄物の処理・再利用を明らかにしている。			

※印欄記入不要